社会調査士課程

社会調査士課程について（現代社会学科生のみ適用）

文学部現代社会学科では、「社会調査士課程」を設置しています。所定の授業科目を履修して単位を取れば、社会調査士資格を取得することができます。現代社会学科の 1 年次から履修できます。

近年では、ビックデータや人工知能などにかかわる「データサイエンス」に注目が集まっています。数値や文章、画像、映像など様々な形態の「データ」が分析され、それをもとにマーケティングがおこなわれたり、政策がつくられたり、人々の生き方の参考となったりしています。しかし、これらの分析の元となるデータが適切な方法で収集されていなければ、そのデータ分析の結果には疑問がもたれるでしょう。また、適切なデータであったとしても不適切な分析をしてしまうと、そのデータの価値はなくなってしまいます。

社会調査士課程では、広く社会を対象として、自分自身やチームで考えた問いに答えるために、データを適切に集める社会調査のおこない方（インタビューや参与観察、アンケート調査など）、集めたデータの適切な分析の仕方（インタビューデータやフィールドノートの分析、社会統計分析、文章や映像などの内容分析など）を学びます。この学びを通して、「調査のエキスパート」を育てることを社会調査士課程の目的としています。同時に、この社会に氾濫する不適切な調査やデータ分析に騙されない知見を身につけることが社会調査士課程で学ぶ目標となります。なお、一部の授業はデータサイエンス副専攻の科目ともなっています。

この調査や分析手法を学んだ証明が、一般社団法人　社会調査協会が発行する「社会調査士」の資格です。本課程を修了し、社会調査士の資格をもつ「調査のエキスパート」として、調査研究を行う様々な領域での活躍が期待されます。

履修手続きについて

■ 掲示

社会調査士課程に関する連絡はすべて、ポータルサイトで行います。

■ 社会調査士課程室

社会調査士課程の履修者のために、社会調査士課程室が 1 号館 2 階にあり、調査・実習指導助手が管理・運営を行っています。コンピュータ、プリンタ、図書資料などがあり、自習することができます。社会調査演習等はこの教室で行います。調査用の IC レコーダの貸し出しも行っています。

■ ガイダンス

1 年次の 1 月頃に、社会調査課程登録等について説明する社会調査士課程ガイダンスを行います。

■ 履修登録

各年次配当の科目を履修登録してください。特に、4 年生は不足単位を確認し、履修してください。

■ 社会調査士課程登録（2 年次以降）

社会調査士課程を正式に履修するには、社会調査士課程ガイダンスに参加したうえで、指定の期日までに社会調査士課程登録を行ってください。定員を超える場合は選考をします（定員 20 名）。定員に大きく満たない場合には、追加募集することがあります。

社会調査士課程を履修する者は、所定の期間内に証明書自動発行機で社会調査士課程履修費 2 万円の申請書を購入し、教務部窓口に提出してください。期間内に納入および申請書の提出がない場

合、社会調査士課程の履修は認めません。

■ 社会調査演習の履修（3 年次以降）

3 年次以降に「社会調査演習Ⅰ」「社会調査演習Ⅱ」を履修します。
履修するためには、以下の 2 点を両方満たす必要があります。
・「社会調査入門」と「社会調査の方法」をすでに修得していること。
・2 年次配当の「現代社会研究の方法Ⅰ」と「現代社会研究の方法Ⅱ」をすでに修得しているか、「社会調査演習Ⅰ」「社会調査演習Ⅱ」と同じ年度に履修すること。

社会調査演習を履修する者は、所定の期間内に証明書自動発行機で社会調査実習費 1 万円の申請書を購入し、教務部窓口に提出してください。期間内に納入および申請書の提出がない場合は、演習の履修を認めません。

■ 資格申請（卒業時）

所定の授業科目の単位を修得したならば、卒業時に本人が申請することで、大学から「社会調査士課程単位修得証明書」が発行されます。

また、卒業時に所定の手続きをすることで、一般社団法人　社会調査士協会から認定証を受け取ることができます。その際、認定手数料 1 万 5 千円（税抜）を協会に振り込むことが必要です。

手続きについては、掲示の指示に従ってください。

社会調査士課程　授業科目について

【2020 年度以降入学生】

（注）○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

<table>
<tr><th rowspan="3">科　目　区　分</th><th colspan="8">授業科目・単位数・配当年次・ターム</th><th rowspan="3">備　考</th></tr>
<tr><th colspan="2">1 年 次</th><th colspan="2">2 年 次</th><th colspan="2">3 年 次</th><th colspan="2">4 年 次</th></tr>
<tr><th>第1</th><th>第2</th><th>第3</th><th>第4</th><th>第5</th><th>第6</th><th>第7</th><th>第8</th></tr>
<tr><td>社会調査の基本的事項に関する科目</td><td colspan="8">社会調査入門②</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>調査設計と実施方法に関する科目</td><td></td><td colspan="7">社会調査の方法②</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>基本的な資料とデータの分析に関する科目</td><td colspan="2"></td><td colspan="6">量的調査入門（統計学）②</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>社会調査に必要な統計学に関する科目</td><td colspan="2"></td><td colspan="6">量的調査法（統計分析）②</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>質的な分析の方法に関する科目</td><td colspan="2"></td><td colspan="6">質的調査入門（資料分析）②
質的調査法（インタビュー）②</td><td>1 科目以上必修</td></tr>
<tr><td>社会調査の実習を中心とする科目</td><td colspan="4"></td><td colspan="4">社会調査演習Ⅰ②
社会調査演習Ⅱ②</td><td>2 科目必修</td></tr>
</table>

※「量的調査入門（統計学）」と「量的調査法（統計分析）」はデータサイエンス副専攻の対象科目にもなっています。